



2010年度日中友好協会市民講座



— 人間孔子に学ぶ —

歴史の風雪に耐え、現代に問いかける孔子の精神



※ 第1回市民講座 一人間孔子に学ぶ一

期日：7月25日（日）

場所：ゆつたら〜と館（呉服元町ムツゴロウ広場前）

時間：午後2時30分～4時

※ 第2回市民講座 一人間孔子に学ぶ一

期日：11月14日（日）

場所：ゆつたら〜と館（呉服元町ムツゴロウ広場前）

時間：午後2時30分～4時

講義終了後、論語検定試験を実施致します。

講師 武田 耕一氏 プロフィール

二松学舎大学大学院博士課程（中国学専攻）了

（株）太平庵 代表取締役財団法人 孔子の里論語講師 多久市史跡保存審議員



講義中の武田氏



会場風景

論語と言えば硬いイメージがありましたが、武田氏のユーモア溢れる講義に、時間の経つのも忘れて聞き入りました。論語だけでなく、中国の歴史、漢字の由来などに興味をお持ちの方も、是非ご参加ください。新鮮な発見があります！



↑ 論語カルタ（孔子の里発行）

※ 問い合わせ先

佐賀県日中友好協会 日中友好協会

〒840-0816 佐賀県佐賀市若宮二丁目14番1号 ホワイトピア若宮103号

TEL & FAX 0952-33-1200 e-mail: saganichu@rapid.ocn.ne.jp

※ 講義より抜粋

仁の意味は、二千数百年たった今でも明確な解釈はない。1つの解釈として、論語に仁の解説として「克己復礼」とあること等から、仁の本字は**任（ニン）**であり、「耐える、自我を抑えて勤めを果たす」という意味があるのではないだろうか。